

クラスだより

～織笠保育園わんぱくZOO～

社会福祉法人 三心会 織笠保育園 クラス便り 平成25年 3月 21日 発行



各クラスの様子



いぬ・ぞう組



いよいよ卒園までのカウントダウンがはじまりました。残り少ない日々でも取り組みがたくさんあり、ぞうぐみは卒園式の練習や、最後の思いで作り、そしていぬぐみもお別れ会の準備・進行に一生懸命に頑張ってくれています。『次はぞうぐみになるんだ(^.^)、一年生になるんだ(^O^)/と意欲や期待も高まり、自信を持って活動しています。そんな子ども達の姿を見て、頼もしく思います。

この恵まれた環境の中でのびのびと遊び、『今日は外で遊べる?』と外遊びは毎日の日課でした。子どもたちも私たちも暑さにも寒さにも負けない、元気な体になりました(*^。^*)

これからも、いろいろな事が待ち受けていると思いますが、それを乗り越えれる、我慢できる思いやりを持った子どもたちであるようにと願っています。

保護者の皆様には、今まで温かく見守っていただき、快くご協力して頂き、本当にありがとうございました。

白野 暁子 鈴木郁美



りす・ちびりす組

早いもので、4月に会ってからももう1年が経とうとしていますね。2歳児ちびりす組さんとは6月からでしたが初めは互いに慣れてくれるか、様々な不安を抱えてのスタートでした。暑かった今年の夏にはたくさん水遊びを楽しむ事ができ、子どもたちも職員も日焼けしました。そして運動会ではたくさんの競技に参加し一所懸命走ってリレーのバトンをつなげたりと成長を感じられる行事でした。秋には年長児とお散歩に行きどんぐりを拾ったり、大きな公園で一緒に遊ぶ事ができました。12月には「おゆうぎ会」たくさんの人を前に緊張したり泣いてしまった事もありましたが、練習の成果もありまた一つ成長した姿を見せてくれましたね。

年齢が違う子同士が生活する事は何かと難しい事もありますが、その分 集団での関わりや大きいクラスの子の姿を見てマネしたり教えてもらったり時には手伝ってもらったりと、1年間楽しく過ごす事ができました。何より保育士も初めての環境でしたが子ども達から教わる事も多く、一緒に成長出来た1年でした。

4月からはりす組はいぬ組4歳児、ちびりす組はりす組3歳児に進級します。今までよりさらに成長し、たくさん驚かせてくれる事でしょう。

1年間、本当にお世話になりました。

富士浩樹 後藤留美



雪も溶け、風が少し柔らかく感じるようになってきた3月です。あひる組のお友達も進級・入園した春や夏に比べとても成長した姿がみられます。この頃はおやつや昼食の準備を自分でしようとしたり、「いただきます」「ごちそうさまでした」と真似をして挨拶できるようになっています。遊びでは保育士が赤ちゃんをおんぶしているのを見て、アンパンマンやメロンパンナちゃんの人形を真似っこしておんぶしたり、ままごとのエプロンをしてキッチンセットでお料理を作ったり、お茶っこをごちそうしたり、消防車やトーマスを運転手になって押して走らせたりと、ごっこ遊びを楽しんでいます。

2月・3月に入園した赤ちゃん2名も少しずつ慣れはじめ笑顔をみせるようになってきています。笑い声と泣き声が賑やかなあひる組です。

4月になり1つずつ進級して新しい春を迎えますが、日々家庭的な雰囲気ですらと楽しく過ごしていけたらと思います。

倉本美代子 竹田志保 佐々木順子

